

壮年の課題共有の時間 分団及びテーマ

- 実施日時：2017年8月25日（金）16：30～18：00

大会参加申し込み時に以下のテーマから参加分団の登録をお願いいたします。

<分団A> 「献身者を生み出す教会」

本分団では「献身者を生み出す教会」について話し合います。

人間の努力で献身者が生まれるというものではないでしょうが、献身者が生まれやすい土壌を作ること、献身者を生み出すために私たちの手でできることについて考えてまいりたいと思います。

本分団では、何か具体的な提言があつてそれについて賛否を問うというようなものではありません。またこの分団で何か結論を出そうというものでもありません。

「献身者を生み出す教会」ということについてみんなで語り合い、その中で参加されたみなさまが何かを持ち帰り、自らが変えられ、教会も何かが変わられ、献身者を生み出す胎動のようなものが微かだが感じられる、そのようなきっかけになればと思っております。

話し合いのたたき台として「マインドマップ」と「壮年の祈り」なるものを作成してお待ち申し上げております。

天城において何か動いて行くことを期待して、是非この分団にご参加いただき、皆さまの熱い思い、クールな思い、現場の苦労、貴重な経験などを共有させていただければ幸いです。

<プロジェクトリーダー：関西地方連合壮年会 北村慎二（宝塚）>

<分団B> 「新任牧師と協働する教会」

1：牧師がますます不足する

1) 神学校卒業後5年以内に辞任（離職）する。

- 参考資料より 2006年～2015年 連盟加盟教会・伝道所等に赴任した者77名3年以内辞任14名（14名中6名は次の任地に異動）辞任率18.2%（ずっと遡っても同率）
- 早期辞任の背景に、教会を支えようとしなない・育てようとしなない壮年の課題があるのではないか。

2：「バプテスト教会」になりたい。

1) 自由だが、一人ひとりの主体的意思を尊重するゆえに、運営が大変な組織。

⇒ 教会員一人ひとりの継続的学びと成熟が求められる。

- 成熟？ … 不断の意識化、忍耐、み言葉と祈り
⇒ 教会はあつという間に「楽」な方向に流れる。「楽」だと思ったら黄信号。

3：牧師の招聘

- 「教会の主体的決断（継続的祈り）＋牧師自身の召命」によって成立
⇒ 招聘「前」の学び、招聘「後」の学びと点検。
⇒ 一人ひとりの言葉になっていくには、時間がかかる！
- 牧師の召命は常に教会の吟味を受けるが、同時に教会も吟味を求められる。
⇒ 祈祷会、礼拝に出てい教会員の「批判（非難）」は「評価」とは言わない。

<プロジェクトリーダー：北九州地方連合壮年会 梅木芳昭（大分）>

<分団C> 「全国大会開催の方法」(壮年大会をデザインする)

各地方連合壮年会が持ち回りで担当する全国壮年大会はことしで52回目を数えます。私たち壮年会の任務は、牧師と協働してどう教会を支えるか、神学生の学びをどう支えるかに対して応答することです。今年の夏は全国の壮年が天城山荘に集まり、互いの顔が見える環境で「全国壮年大会」を論じてみませんか。

ここで質問です。これまでの全国壮年大会は面白かったでしょうか。ためになりましたか。また来ようと思いましたが。美味しいものはありましたか。新しい発見はありましたか。若い壮年のメンバーを誘いましたか。ポジティブな答えが返っていただければいいのですが、質問されてあなたはモヤモヤ、うずうずしていませんか。

数ある分団の中で異彩を放っているのが「全国大会開催の方法・大会充実を目指して」です。分団出席者で「全国壮年大会」をデザインして欲しいのです。すなわち「売れるクルマ」、「使いやすい家電」のように「いいデザインの全国壮年大会」にあなたが参与(うわあ、古くさい表現)してください。

新しい提言、笑いと活気のある全国壮年大会にしていきたいのです。創意と工夫、センスとひらめきで私たちの全国壮年大会をデザインしてみませんか。

<プロジェクトリーダー：東北地方連合壮年会 向井田洋(仙台)>

<分団D> 「奨学金制度の充実」

いつも神学生を覚えて祈り、支えてくださり感謝申し上げます。

私たちは、奨学金制度の充実を検討するにあたって、2012年3月1日「全国壮年会連合活動に関するワーキング・グループ」から答申された『今後の全国壮年会連合活動について』における奨学金制度運営に関する課題を確認することから始めました。また、奨学金制度の充実が伝道者の掘り起こしと養成につながることを願い、併せて、奨学金制度充実のためには、神学校献金の推進が必要あることも確認しました。

ここに、皆様へ奨学金制度の充実として次の通り提案いたします。ぜひ、一人でも多くの方に参加していただき、一緒に祈り考えて行きたいと思えます。

奨学金制度充実のための提案

- 1 奨学金給貸与期間の弾力的運用について
- 2 連立立等神学校の神学生への図書援助費について
- 3 伝道者養成に従事する教員の後継者養成について
- 4 奨学金返還免除の見直し
- 5 卒業延期中における伝道の業の従事期間について

<プロジェクトリーダー：奨学金委員長 篠田裕俊(田隈)>

<分団E> 「神学校献金(神学生奨学金献金)の推進」

地方連合内での神学校献金推進委員の働きにご理解をいただき、今後の神学校献金(神学生奨学金献金)推進活動への取り組みについて共有したい。

<リーダー：全国壮年会連合副会長 野口正俊(志村)>

以上